競技に関する事項の説明

２０１０全日本ＡＲＤＦ競技大会（10 月 24 日）の競技に関する説明及び注意事項
（青文字が訂正した分です。）

１）　実施基準

（１）ＪＡＲＬが定めたＡＲＤＦ大会の競技実施方法に基づいて行います。

（２）緊急時は最寄りの審判員に申し出るかゴールへ直行してください。救護班が競技中はゴールに常駐します。

（３）競技情報

◎ エキシビション　３．５MHz 帯競技

① 周波数　3.5MHz 帯　TX：3.520MHz　ビーコン：3.570MHz
② 電波型式　A1A
③ 空中戦電力　約 3.0W
④ 送信アンテナ　垂直偏波：　変形垂直ダイポール
⑤ 競技時間　１２０分
⑥ ローカルルールあり　スタートとゴール間の距離。直線による総距離。
⑦ 地図　A4　1:15000

◎ 本大会　１４４MHz 帯競技

① 周波数　144MHz 帯　TX: 145.66MHz　ビーコン：145.78MHz
② 電波型式　A2A
③ 空中線電力　約１W
④ 送信アンテナ　水平偏波：　ヘイローアンテナ
⑤ 競技時間　１２０分
⑥ スタート方法　２グループ２方向に分かれます、
1:　M19　M21　M40　W21　（右側、北向きでスタート）
2:　M50　M60　W19　W35　W50　（左側、南向きスタート）
⑦ 地図　B4　1:15000　750m 円記入済み

２）クラス別、探査 TX と探索数　（両競技 3.5MHz、144MHz 共通）

						探査数							探査数
M19	1	2		4	5	４個	W19	1		3	4	5	４個
M21	1	2	3	4	5	５個	W21	1	2	3		5	４個
M40	1	2	3	4		４個	W35		2	3	4	5	４個
M50	1		3	4	5	４個	W50	1		3		5	３個
M60		2		4	5	３個							

３）注意事項等

（１）両競技とも開会式へは競技のできる準備を整えてお集まりください。スケジュールに沿ったスムーズな進行にご協力下さい。両競技ともスタート２０分前に呼び出しますので受信機を持ってスタートエリアへお進み下さい。誘導員の指示に従い、本呼び出し（15 分前）の聞こえる場所まで移動し待機してください。

（２）通常の携行品以外、高校生以下については携帯電話の所持を許可します。ただし緊急時以外の使用は失格としますので、紛らわしい行為は避けるようにして下さい。

（３）通常の携行品以外、GPS ロガーを許可します。ただし地図の表示できる機能のあるものについては携帯しただけで失格とします。

（４）TX 探査記録装置には SI システムを使用します。配布された SI カードを携帯し各 TX に置かれた SI ステーションに確実に挿入し、アラームと点滅で確認して下さい。尚、紛失した場合は失格となり、弁済金 4,000 円の責務を負います。SI カードは必ずお返しください。

（５）競技エリア内立ち入りに関する失格は今回設けません　（立ち入り禁止場所が競技地図には記載があります)。ただし、エリア内には別荘や一般住宅、農地などがあり立ち入りによって迷惑をお掛けしてはなりません。良識ある行動で競技に臨んでください。

（６）競技エリア内は、調査のたびに変化をしています。雨による石の洗い出し、倒木、ぬかるみ、わだち、新たな鳥獣対策電気柵の設置など、また車やバイクへの注意など。〔ケガや事故等にあわない起さないを心がけ〕楽しい競技会を台無しにしないよう各自ご注意ください。

（７）ゴール後は、審判員の指示に従い、再び競技エリアへは立ち入らないで下さい。

（８）競技に臨むにあたり、その時の体調に合わせたゲームに心がけ、事故なく、けがなく、競技時間内にゴールすることが大切です。

（９）予備受信機はスタート地点へ預けることができます。
スタート後、受信機の不具合が発覚した場合、速やかにコースを戻って予備機に取り替えることができます。次のスタートが始まる前に審判員に声をかけ指示に従ってください。予備機は TX の停波後は集計場所へ移動させます。

４）失格事項

（１）競技制限時間を超えたとき。

（２）TX を全く探索できなかったとき。

（３）他の者から援助を受け、又は他の者に援助、妨害を行ったとき。

（４）自動車、自転車等の乗り物を利用して探索したとき。ただし、予め審判長が認め

たときはこの限りでない。

（５）他人の所有物及び財産に損失又は損害を与えたとき。

（６）電波の発射を行ったとき。

（７）競技者間で対話をしたとき。

（８）他の競技者に追従して TX を探索したとき。

（９）配布された競技用地図以外の地図を使用したとき。

(10)主催者が定めた競技実施方法に従って競技を行わなかったとき。

(11) 失格特記事項

１、SI カードを紛失したとき。

２、通信機器を携帯したとき。

（受信のみの GPS ロガー及び高校生の携帯電話を除く）

３、スタート走行コース内で探索行為をしたとき。

４、ゴール走行コースへ入り口から入らずゴールしたとき。

５、審判員及び役員への執拗な口頭での抗議、地域住民への迷惑行為が発覚したとき。

６、TX 装置、記録装置への接触による妨害行為。

７、２０分前の呼び出しを受けた後、１５分前の再呼び出し以降は私語は一切禁止です。質問は競技者でなく審判員へしてください。競技者間の対話は失格にする場合があります。

５）手荷物

3.5Mhz 競技はスタート地点で預かります。引き取りは集計場所（最終 SI ｽﾃｰｼｮﾝ）

144Mhz 競技はスタート地点で預かります。引き取りをゴール地点で希望する場合、スタート審判に申し出てください。申出がない場合は 3,5Mhz 同様、集計場所です。

車のカギと貴重品については、開会式終了後預かります。荷物は指定された場所にお預けください。雨天の場合、雨具はスタート地点で預かりますが、他の荷物とは分けるため、名前など書き込み本人のものであることが確認できるようにしてください。

６）緊急時の連絡先

０９０－１２６６－３５４５	折井　匡	全国大会運営班
０９０－１２６８－１４８０	新井　喜雄	審判長
０９０－１５５７―７８７３	片桐　正之	副審判長

７）その他

トイレはスタート地点、ゴール地点にありません。選手待機場所で済ませてください。

その他、不明な点は随時審判員及びスタッフに質問してください。

８）追記事項　（本大会２４日実施について）

場合により競技説明ができない可能性もあります。TX などのトラブルが無い場合以外、なるべく口頭で説明したいと思いますが、こちらにその内容をまとめましたので、競技前に読んで確認しておいてください。

① ９：００以後、選手待機エリアから出てはいけません。

９：００から第 1 組の呼び出しが始まります。それ以後の待機エリアの出入りは原則禁止です。必要な場合はスタッフに声をかけてください。

② ２０分前呼び出し

２０分前の呼び出しを受けたら、各自、受信機置場より受信機を持って SI のクリア及びチェックを行い、続いて指示に従い、15 分前呼び出し場所へ移動してください。予備機も同様そのとき預けたものを一緒にお持ちください。

③ スタート

スタート走行コースの途中、岩があり狭くなっている場所があります。譲り合って事故の防止にご協力ください。

探索開始後、受信機のトラブルがあり予備機を取りに行く以外は、走行コースを逆走してはいけません。

スタートは、左右に分かれて行いますが選択はできません。あらかじめ決められた方向へスタートしてください。

④ 探索開始後

探索開始の表示があっても暫くそのまま進むことをお勧めします。選択すべき分岐があります。その後は競技エリアを自由に使って探索できます。

④ 給水の準備はありません。

スタート、ゴールまた TX などに給水の準備はありません。待機エリアの水道を利用してください。必要な方は水を携帯して競技に望んでください。

⑤ ゼッケン

ゼッケンは胸背中の前後に取り付け、上から羽織る場合は透明なものを使用し、確認しやすいようにしてください。

各 TX では探索時間とゼッケンナンバーをメモし、万が一 SI にトラブルが発生した場合の保険としての作業を行います。ゴール地点も同様です。

⑤ 鳥獣対策電気柵について

競技エリアのなかで農地と森林の境に、鹿や猪から農作物を守るための電気柵が施されている場所があります。無理やり通ると大きな衝撃を受けます。柵に沿って進むと通路があり、そこは通れます。

地図には赤い線で表示してありますが、設置場所は必ず農地と森林の境にあります。競技者の想定しない行動でこの電気柵に辿り着く可能性がありますが、その場合は柵に流れている高電圧に気をつけ、対応してください。

⑥ スタートと TX のタイミング

TX のタイミングについては、スタート時 5 番 TX が鳴き始めます。1 分後 1 番 TX が送信を始めるタイミングで設定します。正確な時計を携帯すれば、1 分、6 分が 1 番 TX の送信開始時間ですので、時計でも TX の番号が確認できます。

また、TX の設定、スタート地点の時計の設定、SI の設定は同一電波時計で基本設定を行います。

⑦ 競技エリアとシューズ

競技エリアの内部は、加工された舗装路が殆どありません。したがってランニングシューズでも OL 用シューズでも対応できます。

⑧　地図の表記

競技エリア内には、倒木が場所によっては続いてあります。その場所の道は地図上では破線から離れ破線へ格下げにしてあります。したがって離れ破線には次の 2 種類の意味があります。(-- -- -- -- -- --)

1、以前は道だったが使用しなくなったため草木が生い茂って通行しにくい道

2、倒木が何箇所かにあって、くぐる、またぐ、又は迂回するような道

⑧ 競技を途中でやめる場合

都合で競技を中止する場合は、必ず審判又はスタッフにその旨を告げるとともに、帰宅する場合は SI を必ず返却してください。

⑨ エリア内で道に迷ってしまったら

エリア内にはこれといった目標物がありません。住宅も殆どありません。そんなときはなるべく車の轍（タイヤの跡）のある道をたどって行けば競技地図の外周に出ることができます。今回の競技エリアは舗装された道路に囲まれた内側で行います。外周の舗装された道路にいればスタッフが迎えに行きます。

舗装路を横切って競技エリアの外へ出ないようにご注意ください。